



2021年9月8日

ユニリーバ・ジャパンと花王の協働回収プログラム 「みんなでボトルリサイクルプロジェクト」の進捗について

東大和市で開始 80 日で 1,426 個の空き容器を回収、東京都の革新的技術・ビジネスモデル推進プロジェクトにも選定



ユニリーバ・ジャパン(代表取締役社長:サンジェイ・サチュデヴァ)と花王株式会社(代表取締役 社長執行役員:長谷部佳宏)は、プラスチックがごみにならない循環型社会に向けて、ヴェオリア・ジャパンの協力の下、東京都東大和市において「みんなでボトルリサイクルプロジェクト」を実施しています。2021年6月から8月までの進捗をご報告いたします。

「みんなでボトルリサイクルプロジェクト」の目的

- 消費者・行政・企業の連携による、日用品の容器の分別回収・リサイクルの仕組みを検討する
- 回収した使用済み容器を活用し、ボトル容器からボトル容器への水平リサイクル技術を検証する

これまでの進捗と成果

東京都東大和市内 10 か所に設置した回収ボックスにより、日用品の使用済み容器の分別回収を実施しています。東大和市の皆さまのご協力の下、2021年6月1日(火)から8月18日(水)までに合計 1,426 個・約 42kg 分の使用済み容器を回収。同市の全世帯の 3.6%に相当する市民の皆さまに参加いただきました※1。回収された容器の約 46%がボトル、約 54%が詰めかえ用フィルム容器で、ご家庭できれいに洗浄・乾燥され、日用品容器以外のものの混入も限定的でした。同市のウェブサイトや SNS、ごみ分別アプリ、ポスターなどを通して積極的に告知し、市民の皆さまからご理解・ご協力をいただいたことで、順調に回収が進んでいます。さらに、水平リサイクルの実装化を推進する事業であることが認められ、東京都の「令和3年度 革新的技術・ビジネスモデル推進プロジェクト」にも選定されました。



[＜参考＞令和3年度 革新的技術・ビジネスモデル推進プロジェクトについて](#)

※1 回収本数の概算+東大和市の世帯数(39,895世帯、2021年8月時点)で計算

今後のアクション(予定・検討中を含む)

● 日用品の容器の分別回収の拡大

既存の拠点での回収・啓発活動に加え、さらに多くの皆さまに、より便利に、意義を感じながら参加いただけるような仕組みづくりを進めます。具体的には、市民の皆さまへのヒアリング、回収拠点の追加、アプリを使った拠点別の回収量の可視化などを検討中です。また、今後回収拠点がが増えても商業的に持続可能であるよう、回収方法の効率化やパートナーとの協働も検討を進めていきます。

● ボトル容器からボトル容器への水平リサイクル技術の検証

既に回収した空き容器は、2021年9月中に、リサイクル事業を担うヴェオリア・ジェネッツ株式会社にて分別・洗浄・処理します。その後、2021年10月までに、ユニリーバ・ジャパンおよび花王にて、パッケージメーカーのご協力を得ながらボトル容器へのテスト成型をすることを目指します。さらに2021年12月までに、テスト成型したボトルを用いて、強度試験、安全性試験などを行い、今後の洗浄・リサイクル工程に必要な要件を検証します。今後も3カ月ごとに同様のプロセスを経て、ボトル容器からボトル容器への水平リサイクル技術の検証を進めていく予定です。

《会社概要》

ユニリーバ・ジャパン

代表者 : 代表取締役 社長 サンジェイ・サチュデヴァ
所在地 : 東京都目黒区上目黒2-1-1 中目黒GTタワー
設立 : 2009年10月1日(日本での創業1964年)
従業員数(連結) : 約500名(2020年12月31日現在)
事業内容 : ビューティ&パーソナルケア、ホームケア、飲料の製造販売

花王株式会社

代表者 : 代表取締役 社長執行役員 長谷部 佳宏
所在地 : 東京都中央区日本橋茅場町一丁目14番10号
設立 : 1940年5月21日(創業:1887年6月19日)
従業員数(連結) : 33,409名(2020年12月31日現在)



事業内容 : 「ハイジーン&リビングケア」「ヘルス&ビューティケア」「ライフケア」「化粧品」のコンシューマー
プロダクツ事業、産業界のニーズに対応した「ケミカル」事業

ヴェオリア・ジャパン・グループ

代表者 : 代表取締役社長 ギヨーム・ドウルダン
所在地 : 東京都港区海岸 3-20-20
設立 : 2002 年(日本)、1853 年(グローバル)
従業員数(連結) : 17 万 9,000 人(グローバル合計)
事業内容 : 水、廃棄物処理、エネルギー分野におけるソリューションを提供する総合環境企業